

平成 28 年度 ADCA セミナー

「持続可能な開発（SDGs）とは？

～海外農業開発の現状とこれから～」

結果報告書

平成 28 年 11 月

一般社団法人海外農業開発コンサルタント協会

1. 概要と目的

現在世界人口の 60%以上が農業に従事しており、開発途上国では貧困層の 4 人のうち 3 人が農村地域に居住し、生計を農業に依存しております。更に人口の増加や気候変動などに起因する環境問題やガバナンスなどこうした地域で取り組むべき問題も複雑化・多様化しております。また近年ではエネルギー生産への穀物利用の拡大から穀物価格が高騰し、世界の食料事情が厳しい状況になりつつあります。これらの厳しい事情に対応するべく、我が国の開発途上国への政府開発援助（ODA）の基本方針は、貧困削減のための農業・農村開発分野の協力を重視しており、生産力向上などの農業農村開発を効果的・効率的に実施するために、開発途上国の政策や援助需要を踏まえつつ、我が国の経済社会発展や経済協力の経験を途上国の開発に役立てるとともに、我が国が有する優れた技術、知見、人材及び制度を活用し、貧困削減についてのプログラムを展開しております。

弊協会では毎年世界の農業農村開発の展開について国際協力の関係者（JICA 等国际協力実施機関、大学等研究機関、コンサルタント、ゼネコン、NGO 等）と今後の可能性、方向性について、我が国の農業農村開発協力の実績を振り返りながら、共に考える事を目的にセミナーを開催してきました。これまで、東京大学（平成 22 年）北海道大学（23 年）、九州大学（24 年）、鳥取大学（25 年）および日本大学（26 年）および東京農業大学（27 年）において第一線で活躍する農業農村開発のプロフェッショナルを招きご講演をいただいております。

このセミナーでは、国際協力に従事する様々なプレーヤーが存在する中、開発途上国において農業・農村開発に従事する人材の活動実態を正しく社会に発信し、次世代のグローバル人材となり得る皆さまに国際協力への第一歩を踏み出すきっかけ作りをすることを目指しています。また、講演や協力事例報告、パネルディスカッションを通じて、世界における農業や食料事情を提供し、我が国の ODA における農業農村開発への理解を促進させることを目的としています。

2. 開催日時

平成 28 年 10 月 22 日（土）13：00～17：00（会場受付開始 12：45）

3. 開催場所

神戸大学 瀧川記念学术交流会館
（〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1）

4. 対象

農業・農村開発、工学、社会科学系に興味を持つ学生・研究者ならびに、技術者（民間企業、地方公共団体、個人）

5. 主催者

一般社団法人海外農業開発コンサルタント協会（ADCA）

6. 共催者

神戸大学

7. 後援者

農林水産省

独立行政法人国際協力機構

公益社団法人農業農村工学会

8. プログラム

13:00-13:05 開会挨拶 青山 咸康 氏 (海外農業開発コンサルタント協会 会長)

13:05-13:10 共催者挨拶 宮野 隆 氏 (神戸大学大学院 農学研究科長)

13:10-13:15 来賓挨拶 南 格 氏 (農林水産省 近畿農政局 地方参事官)

第1部 講演

13:15-14:15 基調講演 高橋 基樹 氏 (神戸大学大学院・京都大学大学院 教授)
「SDGs=誰一人取り残さない開発：食、農、知をめぐって」

第2部 現場からの報告

14:15-14:35 報告 村上 文明
(日本工営 環境・水資源事業部 地域整備部 部長代理)
「北部ケニア干ばつレジリエンス向上のための総合開発事業を通じた牧畜民に対する持続的な支援の事例紹介」

14:35-14:55 報告 北尾 理恵
(三祐コンサルタント 海外事業本部 技術第一部 技術課 副参事)
「SDGs の時代が変わるものと変わらないもの」

—休憩 (15分) —

第3部 パネルディスカッション

15:10-15:50 パネリスト：高橋 基樹 氏 (神戸大院・京都大院 教授)
長野 宇規 氏 (神戸大院 農学研究科 准教授)
田和 正裕 氏 (JICA 関西国際センター 次長)
岩本 彰 氏 (NTC インターナショナル 社長)
モデレーター：大平 正三 氏 (ADCA 企画部長)

15:50-16:00 閉会挨拶 田和 正裕 氏 (国際協力機構 関西国際センター 次長)

16:00-17:00 業界説明会 会場外にて案内ブースを設け、会社紹介・学生個別相談

9. 参加人数

100名以上

10. 成果

【第一部：基調講演】

「SDGs＝誰一人取り残さない開発：食、農、知をめぐって」

高橋基樹（神戸大学大学院/京都大学大学院 教授）

講演の冒頭では「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の後継となる「持続可能な開発目標 (SDGs)」について解説が行われ、続いて発展途上国で未だに多くの人びとを苦しめる飢餓や貧困の現状、これまでの国際協力における課題や今後の方向性等について説明が行われた。その中で高橋教授は、人々が様々な行為を為す「生」の根底には「食」があり、その「食」を脅かす飢餓や貧困問題を現在の先進国や新興国が乗り越えられたのは、農学や経済学などの「知」を支えとする「農」の進歩であると述べられた。一方、①日本の国際協力は途上国の農業の担い手の知恵を学び活かしてきたのか、②日本の学問然り、国際協力もまた相互に連携のない孤立した活動になっていないか、③20世紀後半以降に大量に行われた食料援助（食料そのものの贈与）は、途上国の援助依存度を高め、自助努力による食料増産を妨げてきたのではないかとといった課題が提起されるとともに、新たな課題として、新興国の富裕化に伴う飽食の進行によって将来の食料不足や飢餓人口増大の可能性が示唆された。講演の結びで高橋教授は、こうした国際社会における来歴や直面する課題を認識したうえで、SDGsの基本理念である持続的（将来世代を犠牲にしない）且つ包摂的（誰をも取り残さない）な開発に向けて、途上国の人々の知恵を聞くとともに、各分野の横断的な取組を以って国際協力を進めていただきたいと述べられた。

【第二部：現場からの報告】

「北部ケニア干ばつレジリエンス向上のための総合開発事業を通じた

牧畜民に対する持続的な支援の事例紹介」

村上 文明氏（日本工営 環境・水資源事業部 地域整備部 部長代理）

本セミナーの共催者である神戸大学大学院農学科（農業土木専攻）出身の村上氏は、ケニアでの牧畜集落の開発に関する活動内容を報告テーマとした。同事業は、①持続的な自然資源管理、②家畜バリューチェーン改善、③生物多様化の3つの技術コンポーネントを柱としている。村上氏は、アニメーションを有効に活用して、特に①の持続的な自然資源管理にかかるパイロット事業において牧畜民の文化習慣や行動パターンなども考慮した開発支援について報告した。

「SDGsの時代が変わるものと変わらないもの」

北尾 理恵 氏（三祐コンサルタンツ海外事業本部 技術第一部 技術課 副参事）

三祐コンサルタンツの北尾氏は、自身がこれまで従事してきた東ティモール国（基本計画策定）、エジプト国（基本計画策定）、ルワンダ国（研修実施）、ミャンマー国（事業化に向けての準備調査）の案件の中で、コメの生産～販売に焦点を当てた報告を行った。SDGsの時代には灌漑や作物生産技術、組織強化、ジェンダー主流化等を網羅した分野横断的な取組みが求められており、従前通り現場を重視し、国や地域の技術レベルや嗜好、気候条件等に即したアプローチを続ける

必要性を強調した。

【パネルディスカッション】

ADCA 事務局の大平部長がモデレーターとして進行役を務める中、第一部「基調講演」と第二部「現場からの報告」に対するアンケート回答に基づきパネルディスカッションが行われた。途上国開発における多分野連携の重要性、個々の分野を磨き続けることの重要性、学問や研究の成果を社会に実装していくことの重要性、SDGs の意義・役割と JICA における SDGs の位置付け、海外で仕事することの難しさ、途上国の人々の知恵を活かすために重要な事項などがテーマとして挙げられ、パネリストから回答が述べられた。

セミナー後は会場外にて現役の開発コンサルタント等が説明ブースを設け、セミナーに参加した学生に向けてコンサルタント業界についての説明を行い、4 時間におよぶ平成 28 年度 ADCA セミナーは盛況のうちに終えた。

【セミナー写真】



来賓挨拶（南 近畿農政局地方参事官）



基調講演（高橋 京都大院/神戸大院教授）



パネルディスカッション



業界説明会・学生個別相談

平成28年度ADCAセミナー収支決算報告書

1.収入の部

内容	単価	数量	合計額(円)	備考
自己資金	1,610,091	1	1,610,091	
		合計	1,610,091	

2.支出の部

内容	単価	数量	合計額(円)	備考		
高橋氏	講演謝金	21,500	1	21,500		
	交通費	0	1	0		
長野氏	講演謝金	16,500	1	16,500		
	交通費	0	1	0		
WG	事前 打合せ	会議室	5,184	3	15,552	農業土木会館
		事務局交通費	87,980	1	87,980	
		会員社交通費	33,130	1	33,130	神戸大打合せ①
		会員社交通費	31,900	1	31,900	
		事務局交通費	35,260	1	35,260	JICA 関西打合せ
		西牧氏謝金	21,500	1	21,500	
		西牧氏交通費	1,904	1	1,904	
		鈴木氏謝金	16,500	1	16,500	
		鈴木氏交通費	3,020	1	3,020	フォローアップ会合
		長野氏謝金	16,500	1	16,500	
	長野氏交通費	45,920	1	45,920		
	事務局交通費	680	1	680		
	西牧氏謝金	21,500	1	21,500		
	西牧氏交通費	1,904	1	1,904		
	事務局交通費	70,808	1	70,808	神戸大打合せ②	
	会員社交通費	66,160	1	66,160		
	会員社交通費	32,300	1	32,300		
	会員社交通費	33,130	1	33,130		
	当日	事務局交通費	136,190	1	136,190	
		会員社交通費	94,080	1	94,080	
会員社交通費		95,070	1	95,070		
会員社交通費		95,070	1	95,070		
学生	手伝い(院生)	10,000	4	40,000		
	手伝い(学部生)	9,500	1	9,500		
会場看板、檀上花	48,600	1	48,600			
要旨集印刷	21,600	1	21,600			
ポスター、チラシ印刷	75,870	1	75,870			
土地改良新聞	64.8	100	6,480			
昼食	1,030	29	29,870			
飲料	110	72	7,920			
懇親会	150,000	1	150,000			
資料コピー代	200,443	1	200,443			
資料配送	6,383	1	6,383			
事務用品	15,911	1	15,911			
その他	3,456	1	3,456	振込手数料等		
合計			1,610,091			